

重症アレルギーの診断基準

- ・輸血中・輸血後 24 時間以内に発症
- ・必須症状：血圧低下（輸血前より収縮期血圧が 30mmHg 以上の低下）
- ・随伴症状：掻痒感・かゆみ、発赤・顔面紅潮、発疹・蕁麻疹などのアレルギー様症状
- ・参考症状：意識障害を来たす場合もある

表 1. TRALI および Possible TRALI の診断基準

1. TRALI

- 輸血中・輸血後 6 時間以内に発症
- 低酸素血症
PaO₂/FiO₂ <300mmHg, or SpO₂ <90% on room air
- 胸部 X 線で両側肺浸潤影
- 循環過負荷を認めない（表 3 を参照）
- 急性肺障害に関連する輸血以外の危険因子（表 2）を認めない

2. Possible TRALI

- 輸血中・輸血後 6 時間以内に発症
 - 低酸素血症
PaO₂/FiO₂ <300mmHg, or SpO₂ <90% on room air
 - 胸部 X 線で両側肺浸潤影
 - 循環過負荷を認めない（表 3 を参照）
 - 急性肺障害に関連する輸血以外の危険因子（表 2）を認める
-

表 2. 急性肺障害の危険因子

直接的肺障害	間接的肺障害
誤嚥	重篤な敗血症
肺炎	ショック
毒物吸入	多発外傷
肺挫傷	熱傷
溺水	急性膵炎
	心肺バイパス
	薬剤過剰投与

表 3. 輸血関連循環過負荷 (TACO)

-
1. 輸血中・輸血後 6 時間以内に発症
 2. 下記の内、4 症状を認める
 - a. 急性呼吸不全
 - b. 頻脈
 - c. 血圧上昇
 - d. 胸部 X 線で肺浸潤影
 - e. 輸液・輸血過負荷を認める
-

表 4. 輸血後 GVHD

-
- ・ 輸血後 1~6 週間に発症
 - ・ 臨床症状
発熱、赤斑、肝障害、下痢、汎血球減少
 - ・ 発症後の受血者の体組織や血液中に供血者由来リンパ球の存在を証明する。
 1. Possible
臨床症状を認めるが、体組織や血液でキメリズムを認めない
 2. Probable
臨床症状を認め、皮膚や骨髄で供血者リンパ球を認める
 3. Definite
臨床症状を認め、皮膚や骨髄で供血者リンパ球およびキメリズムを認める
-

表 5. 輸血後紫斑病 (PTP)

-
- ・ 赤血球製剤の輸血 5~12 日後に、血小板減少を認める
 - ・ 受血者の血清中に抗血小板抗体 (抗 HPA 抗体) を認める
 1. Possible
血小板減少を認める。
 2. Probable/Definite
受血者の血清中に抗血小板抗体 (抗 HPA 抗体) を認める
-